

# 教育研究審議会議事録

第17回公立大学法人宮城大学教育研究審議会（平成22年9月定例会）	
開催日時	平成22年9月22日（水）14時30分～18時
開催場所	大和キャンパス本部棟4階 応接会議室
出席者	馬渡、白石、武田、金子、佐々木、大和田、池戸、桑名、大泉、徳永、山田、三石、千葉、吉田、蒔苗、梶、本藏、加藤、坂本（22名中19名出席）
欠席者	鈴木、西川、真覚
委員以外の出席者	日原、伊藤（知）、小林
事務局	菊田、小山、眞山、辻市、佐々木、諸星
議事概要	<p><b>1 教育研究審議会議事録について</b></p> <p>（1）第16回審議会議事録の確認について 原案どおり全会一致で承認された。</p> <p>（2）第17回審議会議事録署名人の指名について 議事録署名人に千葉委員が指名された。</p> <p><b>2 審議事項</b></p> <p>（1）宮城大学内部質保証システム（案）について <span style="float: right;">資料1</span>          本学では平成26年度に（財）大学基準協会の認証評価を受ける予定であるが、同協会では、平成23年度から、大学業務をPDCAサイクルにより改善する「内部質保証システム」が機能しているか否かを外部評価する新評価方式を導入することから、本学においても内部質保証システムを構築する必要があること、本学の内部質保証システム（案）として、「中期計画サイクル」、「組織評価サイクル」等、12のサイクルで構成する全体像とすること、また、その中に、本学では、なお明文化されていないアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを定めて、この3分野でもPDCAサイクルを入れることについて学長より説明があった。          また、上記3ポリシーについて、宮城大学の3ポリシー案が学長より提示され、意見があれば次回までに提出すること、各学部・研究科の3ポリシー及び共通教育のカリキュラム・ポリシーを10月18日までに取りまとめるよう説明があった。</p> <p>（2）宮城大学学則の一部改正について <span style="float: right;">資料2</span>          食産業学部の入学定員及び3年次編入学定員の変更、学外施設での授業の実施及び博士後期課程の入学資格の変更を内容とする学則の一部改正について、原案のとおり全会一致で承認され、理事会に諮ることとされた。</p> <p>（3）タンペレ応用科学大学との協定について <span style="float: right;">資料3</span>          「タンペレ応用科学大学と宮城大学間の一般協定」（9月3日締結）、「実践看護英語演習」の海外実習実施時の協力等を内容としてタンペレ応用科学大学看護学部と宮城大学看護学部間で締結された「補足協定」（9月3日締結）が全会一致で承認された。</p> <p>（4）地域連携センター専任教員ポストについて <span style="float: right;">資料4</span>          現在、看護学部の空きポストを利用して任用している地域連携センター専任教員のポストについて、学長、各学部長及び地域連携センター長が協議した結果、今後は、3学部で1年毎に空きポストを設けて地域連携センター専任教員</p>

# 教育研究審議会議事録

のポストを維持していくこと、平成22年度は看護学部としていることから、平成23年度は食産業学部が負担し、以後、各学部が順番で負担することで合意がなされたことが学長より説明され、当該合意について全会一致で承認された。

## (5) 学生の懲戒等について

資料5

前期の授業において、出席カードの代筆の依頼又は代筆を行った学生の処分について、「学部長からの口頭嚴重注意」を妥当とする看護学部教授会での審議結果等が桑名委員から説明され、申出のとおり「学部長による口頭嚴重注意」とすることが全会一致で決定された。

## 3 報告事項

### (1) 理事長・学長報告

#### ① 第25・26・第27回理事会について

報告資料1

7月28日に第25回理事会が開催され、平成23年度授業料の取扱い、平成22年度ベストティーチャー賞等について審議されたこと、8月25日に第26回理事会が開催され、研究取扱規程の一部改正、平成23年度非常勤教員人件費割当ての方針等について審議されたこと、8月30日に第27回理事会が開催され、法人事務職員（一般）の採用について決定したことが報告された。

#### ② 次期学長選考結果について

報告資料2

9月15日に開催された第4回学長選考会議の結果、西垣克氏が次期学長候補者として選考された旨、同日、学長選考会議議長から報告があり、同日中に知事に申し出を行ったことが報告された。

#### ③ 平成21年度法人実績評価及び財務諸表・剰余金認定について

報告資料3

平成21年度の法人の業務実績について、「全体として年度計画をおおむね順調に実施している」との評価を受けたこと、平成21年度の財務諸表等及び剰余金の使途が知事により承認されたことが報告された。

#### ④ 食産業学研究科博士後期課程設置申請について

報告資料4

文部科学大臣に申請を行った食産業学研究科博士後期課程の設置について、8月6日に大学設置審議会の審査意見（是正意見2）が伝達され、準備委員会で検討した結果、申請を取り下げることとされ、8月30日の理事会において取下げの決定を行ったことが報告された。

#### ⑤ テニユア・トラック制への移行について

報告資料5

9月1日現在のテニユア・トラック制への移行状況について、対象となる教員143人中123人、86%が移行を表明していることが報告された。併せて、平成22年度・23年度の再任審査及びテニユア審査の対象教員について説明があった

#### ⑥ 剰余金の使途方針について

報告資料6

教育研究の質の向上等に充てるべく目的積立金として整理することについて知事の承認を受けた平成21年度の剰余金約121百万円の使途について、約56百万円を内部留保資金として積み立て、約65百万円を平成22年度補正予算に計上し、「研究力向上」、「就業力支援」等に充てる方針（案）が大和田委員より説明された。併せて、当該方針を理事会で決定した後、各学部等に10月中旬を目処に具体的な使途案の提出を求める予定である旨、説明があった。

#### ⑦ SDについて

報告資料7

9月13日に事務部職員46名が参加してSDが開催され、「基調講演」と8グル

# 教育研究審議会議事録

ープに分かれてグループ・ワークが実施されたことが千葉委員より報告された。

- ⑧ **教育情報公開及びオープンキャンパスについて** **報告資料 8**  
学校教育法施行規則の改正により、平成23年4月1日から大学が公表すべき教育情報が規定されたこと、これに伴い公立大学協会では「教育情報公表ガイドライン」を策定したこと、また、7月31日及び8月1日に開催されたオープンキャンパスの来場者アンケート集計結果を取りまとめたことが武田委員から報告された。

- ⑨ **就職率について** **報告資料 9**  
雑誌等に掲載された大学の就職率ランキングについて、学長から紹介があった。  
また、9月8日現在の内定率について、各社の秋採用が進み、内定率に改善が見られることが日原キャリア開発室長から説明され、併せて、食産業学部小林学生委員長から、同学部の就職状況について、農協等、農業関係の団体等は秋採用が多いこと、公務員試験の結果待ちの学生がいること等について説明があった。

- ⑩ **その他**  
・ **中期計画・年度計画進行管理について** **別添資料**  
平成22年度の年度計画について、上半期の進捗状況を各責任組織でとりまとめの上、10月29日までに理事長室あて提出するよう指示があった。

## (2) 教授会審議状況報告

- 看護学部（桑名学部長）** **報告資料 10**  
9月8日に第4回教授会を開催し、平成22年度前期成績判定、学生の懲戒等、人事に関連し、専門科目に係る領域の再編等について審議したことが報告された。

- 事業構想学部（大泉学部長）** **報告資料 11**  
9月8日に第5回教授会を開催し、平成23年度一般選抜学生募集要項、平成22年度前期成績確認等について審議したことが報告された。

- 食産業学部（池戸学部長）** **報告資料 12**  
9月8日に第4回教授会を開催し、平成22年度前期成績確認、平成22年度後期科目等履修生の合否判定等について審議したことが報告された。

- 看護学研究科（武田研究科長）** **報告資料 13**  
9月8日に定例教授会を開催し、平成22年度前期成績判定、平成22年度後期時間割等について審議したことが報告された。

- 事業構想学研究科（金子研究科長）** **報告資料 14**  
9月8日に第4回教授会を開催し、カリキュラム再編について議論した平成22年度FD報告書、学外で実施する平成22年度後期特別講義等について審議したことが報告された。

- 食産業学研究科（池戸学部長）** **報告資料 15**  
9月8日に第4回教授会を開催し、平成22年度前期成績確認について審議するとともに、大学院博士課程設置申請の取下げについて報告がなされたことが報告された。

## (3) 学内委員会等報告について

- ① **学務入試委員会（武田委員長）** **報告資料 16**  
9月1日に学務入試委員会を開催し、宮城大学学則の一部改正について審議したこと、オープンキャンパスアンケートの集計結果、FD研修会の出席状況、高校訪問等について報告がなされたことが報告され、特に、FD研修会の出席率が全体会97.2%、共通教育部会96.5%であり、各学部・研究科部会は98~100%であったことが説明された。

# 教育研究審議会議事録

## ②学生生活委員会（徳永学生部長）

報告資料17

9月15日に学生生活委員会を開催し、平成22年度前期授業料の減免について審議したこと、また、授業料の減免制度に関し、審査基準の改正について検討し、継続的に審議することとなったことが報告された。

## ③研究委員会（金子委員長）

報告資料18

7月28日に研究委員会を開催し、国際学会発表旅費、受託研究申込、共同研究申込等について審査を行ったことが報告された。特に、国際学会発表旅費については、既に予算の9割を審査済みである旨の説明があり、学長より、申請件数次第では理事会としても対応する旨の説明があった。

## ④共通教育運営委員会

報告資料19

9月8日に共通教育運営委員会を開催し、平成23年度非常勤講師報酬・旅費見込額、山崎教授の後任に係る人事計画等について審議したことが報告された。

## ⑤総合情報センター運営委員会（山田委員長）

報告資料20

9月15日に総合情報センター運営委員会を開催し、学生満足度調査への対応策として学生による図書選定を実施したこと、10月20日に図書の第2回学部選定を実施すること、10月から11月にかけて5つのデータベースのトライアルを予定していること等が報告された。

## ⑥国際センター運営委員会（三石委員長）

報告資料21

7月28日に国際センター運営委員会を開催し、7月29日に開催された日中食産業教育研究交流ワークショップ、ロイヤルメルボルン工科大学との第3回合同シンポジウム等について報告がなされたことが報告された。また、フィンランド夏期短期留学について、先方では、短期留学は今年度限りとし、今後は3ヶ月程度の留学を受け入れる方針を示しており、留学中に修得した単位を本学でどう取扱うかの検討が必要となる旨、説明があった。

また、本日開催された委員会において、ロイヤルメルボルン工科大学からの研究生受入れ要請、トゥルク応用科学大学からの交流の申入れ等について審議したこと、中国の大学から事業構想学部との連携について問合せがきていること等が報告された。

## ⑦地域連携センター運営委員会（西川センター長代理 伊藤教授）

報告資料22

8月2日、9月14日に地域連携センター運営委員会を開催したことが報告され、特に、南三陸町との連携について、合併5周年記念の式典が予定されている11月3日に連携協定の調印式を予定していることが説明された。

この議事録は、公立大学法人宮城大学第17回教育研究審議会議事録である。

平成22年10月20日

公立大学法人宮城大学教育研究審議会 議長 馬 渡 尚 憲

議事録署名人 千 葉 幸太郎